



トラブルシューティングガイド

BF115J, BF135D, BF150D

目次

* ご覧になりたい項目をタップ／クリックしてください

- 警告灯が点灯／消灯した
- エンジンが始動しない
- エンジンが始動してもすぐ止まる／航走中ときどきエンジンが止まる
- 船外機が落水した場合の対処
- 非常時のシフトのしかた（DBWモデル）

このトラブルシューティングガイドは、お買いあげの船外機に付属している取扱説明書の説明内容を補助するものです。不明な点については、取扱説明書を参照してください。当ガイドの写真に映っている船外機は、お手持ちのモデルと異なる場合があります。当ガイドをお手元のデバイスにダウンロードし、いつでも見られるようにしておくことをお勧めします。

WEBマニュアル／取扱説明書PDF／店舗検索

<https://www.hondapps.com/>

警告灯／表示灯の意味



オーバーヒート警告表示灯

運転中、エンジン冷却システムが正常な場合は消灯します。エンジンの冷却システムに異常があると赤いランプが点灯し、ブザーが吹鳴します。また、エンジンの回転が徐々に落ちます。



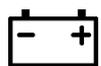
オイル循環表示灯

運転中、エンジンオイルが正常に循環しているときは緑色のランプが点灯します。エンジンオイルの量が少なかったり、油圧システムに異常があったりすると消灯し、ブザーが吹鳴します。また、エンジンの回転が徐々に落ちます。



PGM-FI警告灯

運転中、エンジンのPGM-FI（電子制御燃料噴射装置）が正常な場合は消灯します。異常があると赤いランプが点灯し、ブザーが吹鳴します。

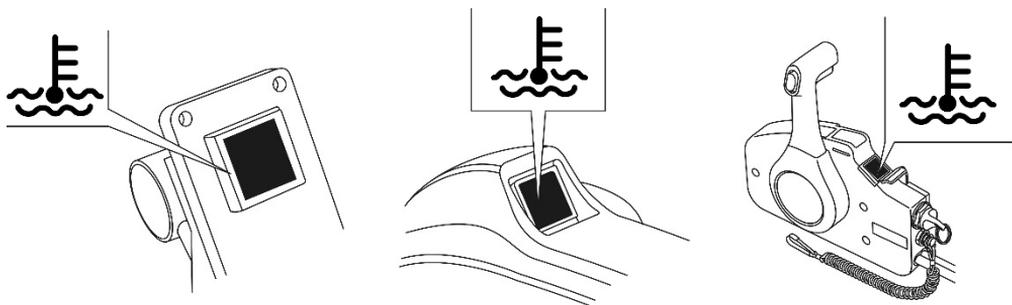


ACG警告灯

運転中、エンジンのACジェネレーター（交流発電機）本体および充電システムが正常な場合は消灯します。異常があると赤いランプが点灯し、ブザーが吹鳴します。

エンジンスイッチをONにすると、すべての警告灯／表示灯が短時間点灯し、ブザーが2回吹鳴します。

現象と対処



現象

オーバーヒート警告装置が作動する

オーバーヒート警告灯が点灯する。

ブザーが鳴る。

エンジン回転数が低下し最終的には停止する。

スロットルを開けてもエンジン回転数が上昇しない。

エンジン回転が上がらなくなって20秒以内に停止する。

考えられる原因と対処

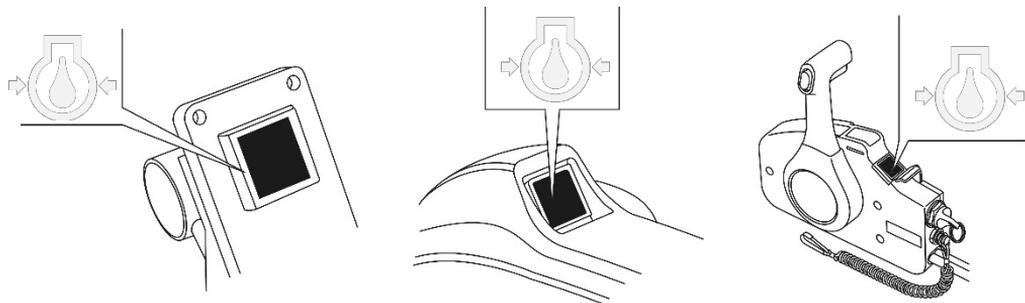
冷却水吸水口の詰まり。吸水口を清掃する。

点火プラグの品番のちがい。正しい点火プラグを取付ける。

- 対処方法の参照は <https://www.hondapps.com/>

- ウォーターポンプの不良
- サーモスタットの詰まり
- サーモスタットの作動不良
- 冷却系水路の詰まり
- 排気ガスの冷却系への混入

サービス店に相談する。



現象

油圧警告装置が作動する

- ・ オイル循環表示灯が消灯する。（メカモデル用サイドマウントリモートコントロールキット、またはインジケーター仕様コントロールパネル）
- ・ オイル循環表示灯が点灯する。（ディスプレイキット）

ブザーが鳴る。

エンジン回転数が低下する。

スロットルを開けてもエンジン回転数が上昇しない。

考えられる原因と対処

エンジンオイルの不足。エンジンオイルを規定量まで補給する。
- 対処方法の参照は <https://www.hondapps.com/>

推奨オイル以外のオイルを使用している。推奨オイルと交換する。
- 対処方法の参照は <https://www.hondapps.com/>

現象

ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルター 警告ブザーが作動する

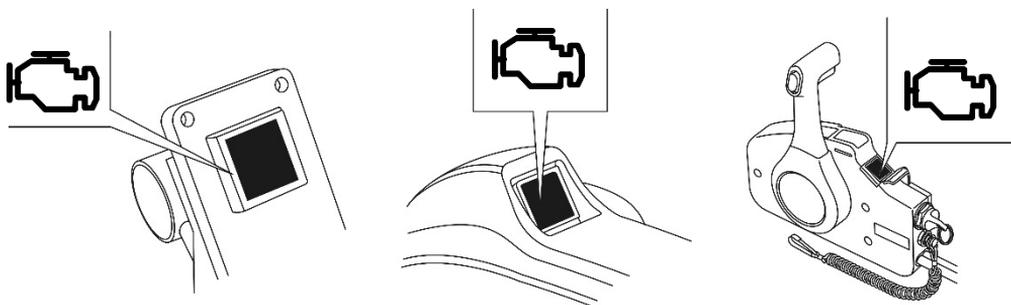
ブザーが断続的に短く吹鳴する。どの警告灯も点灯していない。
(オイル循環表示灯は点灯している)

考えられる原因と対処

ウォーターセパレーターへの水の混入。ウォーターセパレーターのカップにたまった水や沈でん物を取り除く。燃料タンクや燃料チューブに水や沈でん物がたまっていないことを確認する。

- 対処方法の参照は <https://www.hondapps.com/>

再発する場合はサービス店に相談する。

**現象**

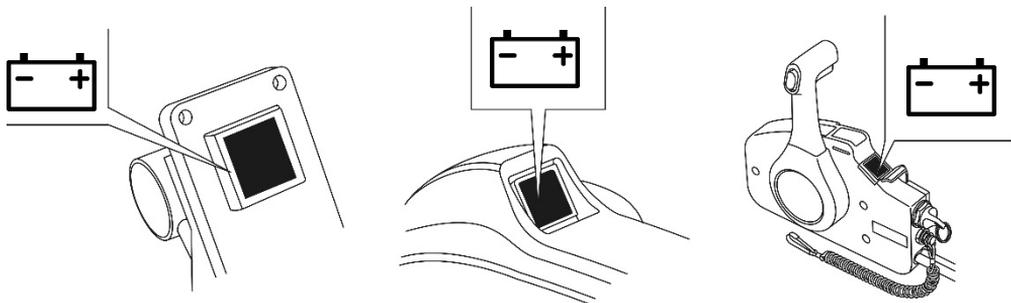
PGM-FI 警告装置が作動する

PGM-FI 警告表示灯が点灯する。

ブザーが断続的に短く吹鳴する。

考えられる原因と対処

PGM-FI システムの異常。サービス店に相談する。



現象

ACG警告装置が作動する

ACG警告表示灯が点灯する。

ブザーが断続的に長音で吹鳴する。

考えられる原因と対処

バッテリー電圧が過電圧および低電圧となった。バッテリーを点検する。

ACGヒューズ切れ。ACGヒューズを点検する。
- 対処方法の参照は <https://www.hondapps.com/>

ACG不良。原因を診断するためにサービス店に相談する。

スターターは作動するがエンジンが始動しない

燃料系統の不具合

考えられる原因	対処
燃料タンクに燃料がない。	給油する。 - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/
燃料タンクフィルターが詰まっている	清掃する。 (船体の取扱説明書を参照)
ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルターが詰まっている	ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルターを交換する。  - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/
燃料ホースの折れ曲がり	折れ曲がりをなおす。
燃料ポンプの作動不良	サービス店に相談する。
劣化ガソリンを使用している	新鮮なガソリンと交換する。 - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/

電気系統の不具合

考えられる原因	対処
点火プラグの汚れ	サービス店に相談する。
点火プラグの火花すき間の不良	調整する。 - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/
点火プラグの破損	交換する。  - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/
TDC, CRANKセンサーの不良	サービス店に相談する。
ECUの不良	サービス店に相談する。
イグニッションコイルの不良	サービス店に相談する。
ワイヤーハーネスの不良	サービス店に相談する。
非常停止スイッチコードの電気リーク	サービス店に相談する。
非常停止スイッチの戻り不良	サービス店に相談する。
点火プラグの締付け不良	点火プラグを確実に締付ける。  - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/

考えられる原因	対処
イグニッションコイルの取付け不良	イグニッションコイルを確実に取付ける。  - 対処方法の参照は https://www.hondapps.com/
非常停止スイッチクリップの取付け不良	クリップを確実に取付ける。

スターターが作動しない

考えられる原因	対処
ACGコイルの不良	サービス店に相談する。
ワイヤーハーネスの不良	サービス店に相談する。
シフトレバーまたはコントロールレバーが“N”（ニュートラル）になっていない	レバーを“N”（ニュートラル）にする。
ニュートラルスイッチの不良	サービス店に相談する。
ヒューズが切れている。	<p>ヒューズを交換する。</p>  <p>- 対処方法の参照は https://www.hondapps.com/</p>

燃料タンクに燃料がない

考えられる原因	対処
燃料タンクに燃料がない。	給油する。 - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/

燃料タンクに燃料がある

考えられる原因	対処
燃料に水が混入している	サービス店に相談する。
ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルターが詰まっている	ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルターを交換する。  - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/
燃料タンクフィルターが詰まっている	清掃する。 (船体の取扱説明書を参照)
アイドルリングの低すぎ	サービス店に相談する。
燃料ポンプの作動不良 ／燃料ポンプにエアが入っている	サービス店に相談する。
燃料ホース・ジョイント・コネクター・プライマーバルブよりエアが入っている	サービス店に相談する。

水没した船外機は、腐食を最小限にとどめるため、できるだけ早く分解・整備をおこなってください。
サービス店が近くにある場合は、直ちにお持ちください。
サービス店が近くにない場合は、次に示す整備を行ってください。

ステップ 1 - 船外機の洗浄



1. エンジンカバーを取り外します。



2. きれいな水でエンジンを洗浄し、海水、砂、泥などを洗い流します。

ステップ 2 - 燃料を抜く



3. ドレンチューブをエンジン側のクランプから外します。
ドレンチューブの先端がアンダーカバーの外側に来るように、取り出します。



5. ベーパーセパレーター
のドレンスクリューを
ゆるめます。



4. 船外機をチルトアップ
します。ドレンチューブ
から燃料が流れ出し
たら燃料が出終わるま
でチルトアップの状態
にして待ちます。



6. 船外機をチルトダウンします。



7. 燃料が出終わったらドレンスクリューを締付けます。



8. ドレンチューブをクランプに戻します。

ステップ3 - エンジンシリンダーの水を抜く



9. 非常停止スイッチクリップを外します。



10. 点火プラグを取り外します。

11. エンジンをクランキングしてシリンダー内の水を排出します。

メカモデル用、DBW モデル用エンジンスイッチ仕様

- エンジンスイッチを3秒ほど“START”（始動）の位置にて、シリンダー内の水を完全に抜きます。

パワースイッチキーおよびスタートストップ仕様

- パワースイッチキーを“ON”（運転）の位置にまわし、スタートストップスイッチを3秒ほど押して、シリンダー内の水を完全に抜きます。

ステップ4 - エンジンシリンダーにオイルを注入



12. 点火プラグ穴からスプーン1杯ほどのエンジンオイルを注入します。

13. 点火プラグ穴を布で覆い、エンジンをクランキングしてシリンダー内にエンジンオイルを行き渡らせます。

メカモデル用、DBW モデル用エンジンスイッチ仕様

- 点火プラグを外した状態で点火プラグ取付け穴を布で覆います。
エンジンスイッチを3秒ほど“START”（始動）の位置にて、シリンダー内にエンジンオイルを行き渡らせます。

パワースイッチキーおよびスタートストップ仕様

- 点火プラグを外した状態で点火プラグ取付け穴を布で覆います。
パワースイッチキーを“ON”（運転）の位置にまわし、スタートストップスイッチを3秒ほど押し、シリンダー内にエンジンオイルを行き渡らせます。

注意

落水したときにエンジンがかかっていた場合、コネクティングロッドが損傷している可能性があります。クランキング時に引っかかりがあった場合、修理されるまではエンジンを始動しないでください。

コントロールレバーでシフト操作ができなくなった場合は、以下の手順でシフト操作を行い、低速で帰港してください。

1. コントロールレバーを“N”（ニュートラル）の位置にします。



2. エンジンを停止します。



3. エンジンカバーを取り外します。



4. 付属工具の⊕ドライバーにグリップを取り付け、シフトアクチュエーターの穴に差し込みます。

5. エンジンを始動します。

6. シフトアクチュエーターを動かして、“F”（前進）または“R”（後進）の位置にします。

